

研究課題名

糖尿病ケトアシドーシスにおける酸・塩基平衡異常の病態: Stewart による physico-chemical 分析

研究責任者の氏名

安田 圭吾

研究の概要

糖尿病ケトアシドーシス(DKA)は、糖尿病の最も重篤な急性合併症であり、臨床上最も頻度の高い酸・塩基平衡異常の一つです。

今回、私たちはDKAの酸・塩基平衡異常について、physico-chemical分析法により解析を行います。本研究が、DKAの病態解明に役立つことを期待しています。

研究の対象となるのは、2001年4月1日～2014年4月30日までの間に、松波総合病院にて診療を受けられ、血糖上昇、尿ケトン体陽性などから、DKA疑いとして入院された糖尿病患者様で、血清ケトン体の β 水酸化酪酸(β OHB)濃度が1 mmol/l以上の方です。診療録の情報をを用いて統計解析を行います。

本研究では、該当する患者さんに関する情報について、インターネットに接続していないコンピュータを用い、誰のものかわからない状態にした上で統計解析に利用させていただきます。電子データはパスワードをつけて保管し、研究終了後5年間保管した後に消去します。研究成果については、学会で発表または学会誌等に投稿する予定です。住所、氏名などの個人情報が公開されることは一切ありません。

連絡先

松波総合病院 臨床検査部 部長

安田 圭吾

TEL: 058-388-0111(代)

FAX: 058-388-2391